



を組み立てるために必要な最低限の言語知識なのです」(酒井氏)

普遍文法とは、「チョムスキーによれば言葉の秩序そのもの」(酒井氏)だという。言語というものはすべて、木構造で成り立っている。たとえば「みんなの／家」という言葉。どちらが主たる言葉かは、日本語の話者なら「家」だとわかる。英語では“house for everyone”となり、日本語とは違って主たる言葉が先におかれる。

「単語が増え、文が長くなれば木構造の枝が増えて、複雑さが増します。自然言語である限り、乳幼児は誰からも文法規則を教わらなくても、複雑な構造の文を理解し、自分で文を組み立てて発話ができるようになります。これは、人間の脳だけが持っているユニークな特徴なのです。生まれて数年の間に、発話の長さ(一文中の語数)が爆発的に伸びることがその証左です。人間が入ってきた情報を瞬時に整理して組み立てることは、目まぐるしく意識下で働く普遍文法で支えら

れているのです」(酒井氏)

酒井氏は、「あらゆる人間の創造性は、パターンのなかに秘められた暗黙の型を把握し意のままに使えるということ」だと看破する。たとえばクラシック音楽で、それがはじめて聴くモーツァルトの曲であっても、そこに“モーツァルトらしさ”を感じる。それは、モーツァルトの音楽の基本的な型がわかっているということだ。「入力から普遍文法を経て、出力に至るというのは一連の流れです。豊富な読書を通して多くの表現の“型”を蓄積すれば、出力の能力が高まります。新たに自分で言葉を組み立て直すためのパターンを自然に獲得することになるのです」(酒井氏)

### 伝わらないから書き直すという経験がない

では、出力のなかでも特に、書く力を高めるためにできることはあるのか。「まず、話し言葉と書き言葉は違うものだ」と認識すべきだと酒井氏

は指摘する。「文字というのは特殊な記号や約束事なのです。言語に関する限り音声十全な情報を持っており、文字はその一部を記号化したものにすぎません。抑揚やアクセント、間という情報が表現されていない、圧縮された情報なのです」(酒井氏)

つまり、文字で正確に意図を伝えるには、話すときよりも難度が上がるのだ。SNS上での2人の会話の例を挙げよう。

A:彼を怒らせてしまったようだね。

B:あなたのせいじゃない。

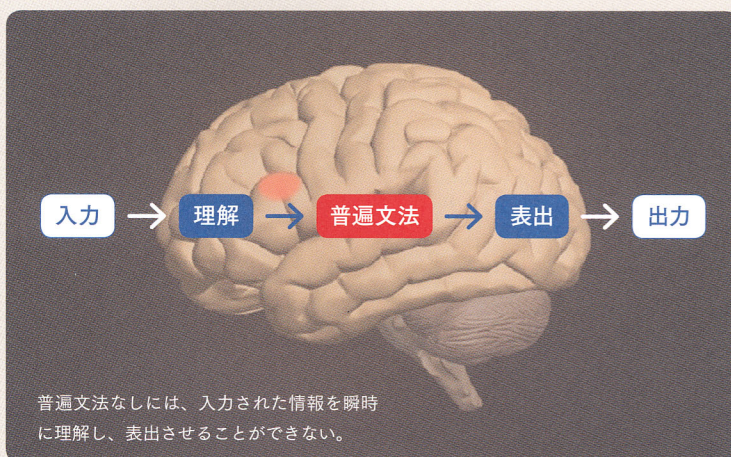
A:何様?

B:あなたこそ何様?

このように喧嘩になってしまうのは、文字で表現すると、「じゃない」には2通りの解釈が可能だからだ。「Bが『じゃないよ』という否定の意味で言ったはずなのに、相手の責任を決めつけたようなニュアンスにも取れます。音声なら、こんな些細なことで喧嘩にはならないでしょう。文字で自分の意図を伝えることの潜在的な難しさやリスクをもっと意識しなければなりません」(酒井氏)

教育の現場において学生の文章を指導する機会の多い酒井氏には、明らかに学生の書く力が低下していると思えるという。学生が書いたレポートや論文を指導するとき、「話があちこち飛んでわかりにくいから推敲してください」と言うと、「推敲って何をすればいいんですか?」という答えすら返ってくるそうだ。「書いても人に伝わらない可能性があったり、読み手によってはまったく反対の意味に受け取られたり、誰かを傷つけてし

### 脳における言語処理の一連の流れ



出典: 酒井氏により作成

まったりするという事に思いが至らない。その最も大きな要因は、SNSの氾濫だと思います」(酒井氏)

SNSでは、常に一方的な発信になりがちだ。「書きたいことを書けば、不特定多数の人々が“いいね!”と反応をくれる。そもそも伝わらないことを想定して書き直す、という経験が乏しいことが問題です」(酒井氏)

既に述べたように、入力段階では、入ってきた情報に加えて、自分で話し手や書き手の意図を補って想像

して、はじめて意味を理解できる。そして、出力に向けて表出を準備する段階では、相手に伝わるように言葉を組み立て直すという創造力が求められる。「目の前にいない読み手を想像して出力する、という能力は、書くことによって伸びます。相手を読むときの心理を想定して書くために、構成や表現を工夫する。話すときには時間的制約があるため、この作業はさらに難しくなります」(酒井氏)

では、話す力を身につける前に書

く力を身につければいいかということ「そうともいえないのが難しいところ」(酒井氏)だという。「相手を目の前にして、相手に伝わらないという場面に向き合い、自らの表現をその場で修正していく経験も必要だからです。つまり、きちんと書くためにはうまく伝わるように話す必要があります、その逆も真なり、ということです」(酒井氏)。書く・話すを何度も往復し、自らの表現を“推敲”する態度が求められるということだ。